



介護老人保健施設

ユニケア岡部

Withコロナの実習

-安心した実習環境を目指して-

介護老人保健施設 ユニケア岡部

副施設長 小沼克典

はじめに

2019年12月コロナウイルス感染症発症以降

★感染に対する介護施設を取り巻く変化

- ・介護施設は蔓延のリスクが高い
- ・高齢者は重度化しやすい



感染するリスクを減らしたい

外部よりの持ち込みを極力防ぐ

面会の中止・実習受け入れの中止（縮小）



終息の気配なし

実習受け入れ施設としても

コロナと共存しながらの受け入れが必要なる

介護老人保健施設 ユニケア岡部

設立：平成15年9月1日

住所：藤枝市岡部町

種別：介護老人保健施設（単独型）

入所：長期入所90名 短期入所10名

居室：全部屋個室（ユニットケア）

職員：入所介護職員（正職員 40名 非常勤職員 10名）

→正職員40名中で養成高卒業者21名

→5年間の新卒採用20名（離職3名。全職員中20代45%）

資格：実習指導者資格 10名

実習受入養成校：5校

実習受入人数：令和3年度 12名

実習受入日数：令和3年度 92日



三輪医院グループ



ホームページ

ユニケア岡部の特長

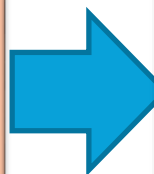
地域で支え、地域で看取る

安心して過ごせない。安心して死ねない
(最後まで道筋のついたサービスも必要)



在宅困難

- ・ 重度の認知症
- ・ 医療の依存が強い
- ・ 地域の介護サービス量
- ・ 家族の介護力
- ・ 住環境



ユニケア岡部

- ・ 利用者を選ばない
- ・ 切れ目のないリハビリ
- ・ 住み慣れた地域に住む
- ・ 最後まで受け入れ
(平均 25 名の看取り)

ユニケア岡部での生活

ユニケア岡部 = 医療・リハビリ + **生活の場**

「わがまま」「こだわり」が出せる

- ・ ケアプランの充実（本人の希望を叶える）
- ・ 全部屋個室（プライベート空間確保）
- ・ 持ち込み自由（お酒・たばこ）
- ・ 就寝・起床時間の自由



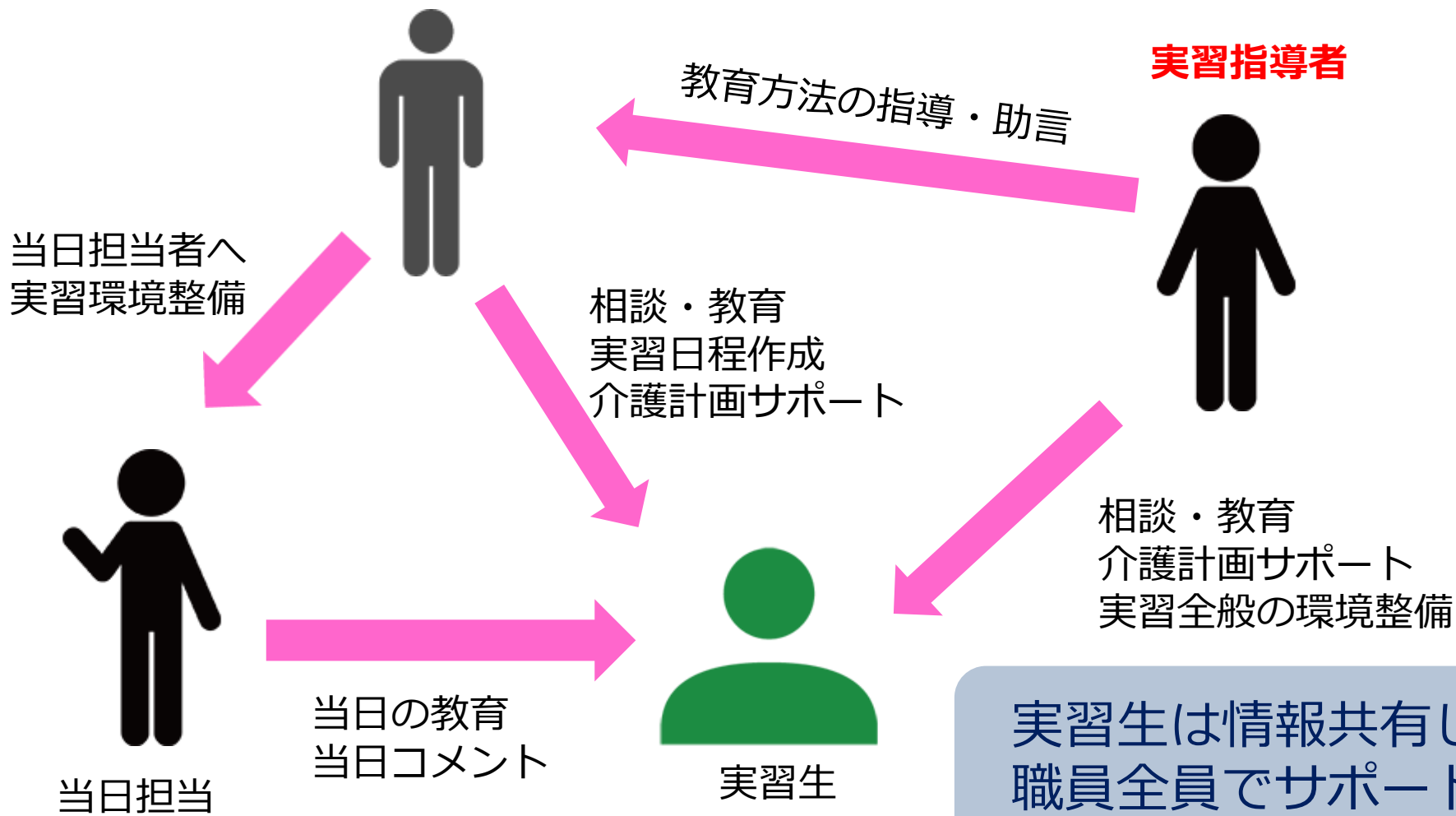
施設は家庭の延長線上

実習生の受け入れ環境（担当）

現場の**実習受け入れ担当**・介護長
(同年齢・同性・OG)



実習生受け入れ研修受講



実習生は情報共有し
職員全員でサポート

実習生の受け入れ姿勢①

施設は学びの場

- × 学生が施設に合わせる（時間・業務内容）
- 施設が学生の学び（目標達成）に合わせる



実習期間中の日程・1日の流れ
→ 現場担当職員と話し合いで決める

- × 業務を教える
- 目標達成のために施設全体でサポート

実習生の受け入れ態勢②

介護の楽しさ（奥深さ）を知る

- ◆ 楽しみの提供（行事）
非日常の取り組み
- ◆ 他職種連携
職種間の協力体制
- ◆ 委員会活動
組織としての生活の向上
- ◆ 研修（知識・技術の向上）
職員の教育の仕組み



日常業務以外での介護職員の取り組み

コロナ禍での実習

コロナ以前と比べ実施ができなくなったこと

★完全に中止

- ・在宅訪問（介護計画対象者の自宅訪問）
- ・外出行事

★感染状況により中止・縮小

- ・施設内会議（人数制限）
- ・委員会
- ・施設内行事

★しっかりとした対人介助（入浴・食事）



多職種共同ので話し合う場・日常業務以外の介護職の役割

見学や実施機会が激減

ユニケア岡部での実習生受け入れ状況

コロナ発生時より継続して受け入れを実施

★施設内の実習生に対しての感染対策

●基本対策

検温、マスクの着用、アルコール消毒、黙食、私生活での3密回避

●長期実習生に対して

アルコールボトルを提供（感染時はフェイスシールドを提供）

★ユニケア岡部の実習受け入れ中止の判断

●担当の介護現場（ユニット）で利用者様に感染者が1名以上出た時

→職員のみでの感染では感染対策を厳重にした上で実習を継続

→他ユニットで利用者様の感染が発覚時も継続

実習を行う事を前提に対策を考える

コロナ禍の実習受け入れの要望・課題

養成校・学生への要望

- ・体調不良時は休んでほしい
→休んだ事による日数・実習時間不足の事前対応策
- ・私生活では3密回避の徹底
- ・介護施設のコロナのまん延の危険性を認識（気をつける事）
→施設の感染マニュアル、厚生労働省のコロナ対策の映像等
- ・緊急時に学生に連絡が取れるような体制
→夜間・土日に関設で感染発生時の行動履歴の把握

受け入れ施設の課題

- ・感染発生時の対応に困る施設もある
→他施設の状況を知るような環境があればとても嬉しい
→学校のあり方を示す（Q&A）

最後に

施設実習は施設側からみて

- ①学校で学んだことの復習の場
- ②将来の介護への心構えを作る場
- ③見学・体験を通して知識・技術を定着させる場

重要!

「知っている」→「わかる」「できる」

実習を受け入れる施設としても後進の育成・介護人口の拡大のため、常に実習生にとってより良い環境が必要である